

<本戦3日目レポート>



<本日の結果は以下の通りです。>

【シングルス】

Benjamin MITCHELL(AUS) ●6-7(2)/0-6○ Jimmy WANG(TPE)

Matthew EBDEN(AUS) ○6-1/6-3● Hiroki MORIYA(JPN)

Kimmer COPPEJANS(BEL) ●6-4/1-6/2-6○Marco CHIUDINELLI(SUI)

Chase BUCHANAN(USA) ●1-6/1-6○ Go SOEDA(JPN)

【ダブルス】

Brydan KLEIN(USA)		Bradley Klahn(USA)
Tsung-Hua YANG(TPE)	●3-6/4-6○	Michael VENUS(NZL)
Ruben GONZALES(PHI)		James CERRETANI(USA)
Artem SITAK(KZL)	●4-6/1-6○	Adill SHAMADIN(CAN)
Marin DRAGANJA(CRO)		Toshihide MATSUI(JPN)
Mate PAVIC(CRO)	●3-6/6-7(10)○	Danal UDOMCHOKE(THA)
Yoshifumi INOUE(JPN)		Hsin-Han LEE(TPE)
Dae Yang KWEON(KOR)	●3-6/6-7(4)	Hsien-Yin PENG(TPE)

【松井俊英、ウドムチョク・ダナイ組第一シード破る】

本日は、伊藤・内山組、松井・ウドムチョク組のダブルス一回戦、添田豪、守屋宏紀のシングルス二回戦と、多くの日本人選手の試合が行われた。なかでも観客の方からの声援や歓声が多く上がった、第一シードのドラガンジャ・パビッチ組対松井俊英・ウドムチョク組のダブルスが強く印象に残った。

第一シードのドラガンジャ・パビッチ組はチャレンジャーで2週連続優勝を果たしており、全豪オープン出場もほぼ確定しているペアである。一方、松井、ウドムチョク組は他選手の欠場により、繰り上がり出場となっている。観客の多くは、ドラガンジャ・パビッチ組有利な試合展開になるであろうと予想していたに違いない。

しかし、ファーストセット序盤から松井・ウドムチョク組のプレーが相手を翻弄する。プレーだけではなく、松井選手のポイント間の表情、雰囲気、ボールを打つときの声、全てが相手を萎縮させていた。

セカンドセット、何度も相手のセットポイントと自分たちのマッチポイントが

行き来する重要な場面、松井選手は常に冷静さを保ち続けていた。
迎えたタイブレーク 11-10 のマッチポイント、松井・ウドムチョク組が攻めのプレーを貫き、勝利した。

「チャンスはいかさないといけない」と試合後松井選手が語っていたように、松井、ウドムチョクペアの勝ちに対する執着心、感情に出さずとも伝わってくる熱い気持ちが観客にも伝染し、気づけば観客のほとんどが松井、ウドムチョクペアの応援についていた。

「負けても勝ってもいい。負けたら次にいけばいい。」と言っていたが、その姿には感情を出さない冷静さの中に熱い気持ちを持っているように感じた。

明日は松井俊英・ウドムチョク組の二回戦、伊藤竜馬のシングルス、ダブルスの二回戦が行われる。

(慶應チャレンジャー広報部門)

本日は世界トップ100ランカーの添田、エブデン、クーディネリが登場。添田は予選上がりのブチャナンに危なげなく勝利。エブデンはサービスを軸に守屋に主導権を握らせずにストレート勝ち。クーディネリはコッペジャンにファーストセットを先取されたが危なげなく勝利。3選手ともに順当に勝ち上がった。

本日はダブルスが5試合。2週連続優勝しているドラガンジャ・パビッチ組と松井俊英・ウドムチョク組の対戦が白熱した。松井・ウドムチョク組は補欠1番であったが、他選手の棄権により繰り上がり出場し、ファイナルセットタイブレークで金星を挙げた。ダブルス第2シードのラティワタナ兄弟は『この5年間でダブルスのスタイルは大きく変わっている。我々は世界ランクが高いが、今大会は課題に取り組みながらチャレンジを継続したい。』と話しており、熱戦が予想される。

明日は残りのシングルス2回戦が4試合開催される。伊藤竜馬は韓国のチュン

と対戦。チュンは韓国期待若手の18歳でウインブルドンジュニア準優勝を果たしている。迎え撃つ選手にとっては精神的にコントロールが難しいが、天皇杯の重圧を乗り越えた伊藤がどのように対応するか、楽しみである。また、USオープンジュニア優勝しているコリッチが世界トップ100ランカーのカブチッチと対戦。コリッチはヘビースピンのかかったストロークと勝利に対する執着心が素晴らしく、経験ある選手にどう立ち向かうかが見所である。

(トーナメントディレクター 坂井利彰)